



萩市立小川小学校

小川っ子だより

第4号

令和元年7月10日

お・思いやりのある子

が・がんばり続ける子

わ・わかる喜びを感じる子

“充実した夏休みに～目標をもって夏休みに入ること”



4月8日(月)の始業式・入学式から、26名の子ども達は“1年生を迎える会”“社会見学・修学旅行”“田植え”“プール開き”“一輪車練習”“ぶどう・梨・野菜の世話”等の学校行事や学習に一生懸命取り組んできました。おかげで、4月当初に比べ、やろうとする思いと行動、そして、子ども達同士の励ましと交流によって、できることが増え心身ともに、一回りも二回りも大きく成長してきました。



これも、保護者・地域の皆様の環境美化活動への協力や授業の参観と講演会活動への参加等、学校の教育活動に対するご理解・ご協力をいただいたからこそ、計画された教育活動が順調に進み、充実した活動を行うことができたことと思っています。また、保護者や地域の皆様方の子ども達に対する声かけがあったからこそ、子ども達が安心して学校生活を送ることができたからだと思っています。本当にありがとうございます。

【子どもにとって大切な夏休み】

あと、8日で終業式を迎え、夏休みに入ります。1年生にとっては、小学校生活で初めての、そして、6年生にとっては最後の夏休みです。始まる前は長いと思っても、いつの間にか終わってしまい、最後は焦ってしまうのが夏休み。夏休みは、子ども達にとっては「1年間の中でとても大切な節目になる時期」と考えています。なぜなら、自分の思いで過ごす時間が長いため、過ごし方により自分に対する自信が付き、可能性を大きくすることができるからです。ぜひ、26名の子ども達が夏休み明けの9月2日には「今年の夏休みは〇〇をやった」と、目を輝かせて登校することを期待しています。



【夏休みを親子で魅力あるものにするために】



《**したい活動の立案と計画**》「学習面」「手伝い」「お楽しみ」「遊び」の4点からを中心に、前年度までの夏休みの経験とその反省を活かして、したい活動について、1日の過ごし方、1週間の過ごし方、7月までにはすること、8月までにはすることのように、親子で学校から配られる文書を元にぜひ、夏休みの前に計画を立て夏休みに入っていただければと思います。



《**夏休みは普段できない体験**》「どこかに家族旅行に行く」ことだけが普段できない体験ではありません。例えば、夕方に夕日のきれいな所に自転車で行ったり、早朝に山に昆虫を獲りに行ったり、親子で家の周りを探検して虫や草花の観察をしたりすることが、素晴らしい体験だと思います。また、親子でクッキングにチャレンジするのもいいですね。



《**夏休みだからこそ、自分のことは自分でする習慣を**》1日の自分へのスイッチを入れるためにも、「自分のことは自分でする」「家族の一員としての手伝いをする」に、ぜひ取り組ませていただきたいものです。例えば、ふとんの上げ下ろし、食後に食器を下げる、洗濯物をたたみ、自分の服をきちんとしまし、使ったおもちゃはすぐに片付けるなどが挙げられます。この取組が、習慣化されることが、自分の身の回りのことは自分でする習慣につながっていくことと思います。時間的に余裕がある、夏休みならこなせるはずです。

《夏休み中に気をつけたい「健康面・安全面」》

- **熱中症の予防** 暑いときの運動は無理をしないこと。屋外だけでなく屋内でも注意が必要です。休憩を計画的にとり、スポーツドリンクなどで水分と塩分をこまめにとることです。
- **早寝早起きをし、暴飲暴食をしない** 十分な睡眠と朝食をしっかりと、朝の時間を有効に使えるように、規則正しい生活を送ることが何より大切です。

